

要 望 書

石川県におかれては先般の6月議会において、新型コロナウイルス感染症対策として、感染患者の治療に当たった医療機関に対する財政支援や医療従事者に対する慰労金等多額の補正予算を確保していただき深く感謝申し上げます。

しかしながら、一方では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染患者の治療に当たる医療機関のみならず、通常の診療を行う病院、診療所においても感染を恐れての受診控えが広がるなど、多くの医療機関において医療経営が悪化するまことに憂慮すべき事態となっているところである。

今般本会が行った実態調査においても、本年5月診療分は前年同月と比べ病院で▲11.7%、診療所で▲20.0%の減収となっており、今後もこうした深刻な状況が続けば、医療機関の経営にさらに重大な影響がおよぶことは必至であり、万一にも医療機関の倒産や大幅な診療機能の縮小等の事態ともなれば、本県の地域医療に少なからぬ支障が出ることは論をまたないところである。

県におかれては、現下の厳しい状況をご賢察いただき、その到来が確実視されている感染拡大の第2波以降も、本県の地域医療を確保し、県民の健康と生命を守り抜くため、県として医療機関へのさらなる経営支援を図られるとともに国に対しても融資制度や助成制度等の一層の充実強化に係る早急な対応を要請されるよう、ここに要望する。

令和2年7月29日

石川県知事 谷本 正憲 殿

石川県医師会会長 安田 健二